

4. 地権者意向調査の結果（続き）

◆土地所有者及びご家族の方共通

問4（問3）. まちづくり情報の伝え方は？

■ 土地所有者
■ ご家族の方

選択肢	回答数	比率
1.個別に説明してほしい	12	6.6%
2.説明会や懇談会	62	33.9%
3.まちづくりニュース	74	40.4%
4.市のホームページ	33	18.0%
5.メール	14	7.7%
6.その他	18	9.8%
無回答	7	3.8%
	4	2.2%
	5	2.7%
	2	1.1%
	9	4.9%
無回答	98	53.6%
合計	183	100.0%

土地所有者は「3.まちづくりニュース」が最も多く、次いで「2.説明会や懇談会」となっています。
ご家族の方は上位2つに関しては土地所有者と同様の傾向が見られます。

問5（問4）. どんな講演会なら参加したい？

選択肢	回答数	比率
1.県内で活躍している方のお話	44	24.0%
2.県外で活躍している方のお話	16	8.7%
3.県内・県外は特に問わない	106	57.9%
4.その他	60	32.8%
	15	8.2%
	4	2.2%
	10	5.5%
無回答	97	53.0%
合計	183	100.0%

土地所有者は「3.県内・県外は特に問わない」が最も多く、次いで「1.県内で活躍している方のお話」となっています。
ご家族の方は上位2つに関しては土地所有者と同様の傾向が見られます。

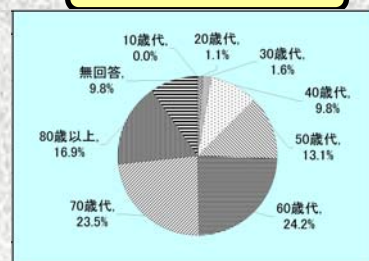
問5（問4）. どんな先進地視察なら参加したい？

選択肢	回答数	比率
1.県内の参考事例地	50	27.3%
2.県外の参考事例地	17	9.3%
3.県内・県外は特に問わない	85	46.4%
4.その他	48	26.2%
	19	10.4%
	9	4.9%
	15	8.2%
無回答	100	54.7%
合計	183	100.0%

土地所有者は「3.県内・県外は特に問わない」が最も多く、次いで「1.県内の参考事例地」となっています。
ご家族の方は上位2つに関しては土地所有者と同様の傾向が見られます。

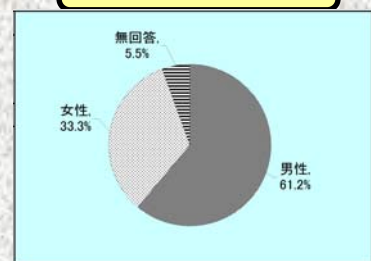
◆回答者の属性

土地所有者の年齢



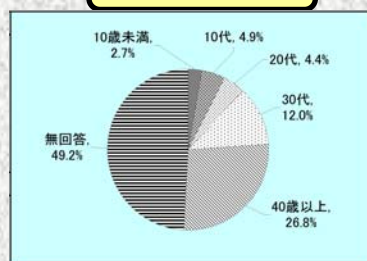
60歳代以上が半分以上となっています。

土地所有者の性別



男性が約61%、女性が約33%となっています。

ご家族の年齢



次世代の中心となる30~40歳代に回答してもらいました。

意向調査の結果は、「瑞慶覧まちづくりハンドブック」や次年度の勉強会に反映させていきます。今後もまちづくり活動への参加など、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

ニュース等に関する問い合わせ

宜野湾市基地政策部基地跡地対策課 担当：仲村、渡嘉敷
TEL：098-893-4401（直通） FAX：098-892-7022

キャンプ瑞慶覧返還予定地区 まちづくりニュース

発行：宜野湾市基地政策部基地跡地対策課
TEL 098-893-4401（直通）

2012年（平成24年）3月
Vol. 31

《本号の概要》

今年度の活動成果をご確認ください。

キャンプ瑞慶覧返還予定地区では、確実に近づいている返還に向けて、地権者の皆さんを主役に『いつ返還されても円滑なまちづくりが出来る 用意を整える』ために、今年度もまちづくり活動を進めてきました。

●まちづくり勉強会の開催



●まちづくり懇談会の開催



●県内先進地視察の開催



●まちづくり講演会の開催



★まちづくりに対する
理解・意識の向上
★事業の実施準備

●地権者意向調査の実施



●まちづくりニュースの発行



●「瑞慶覧まちづくりハンドブック」（入門編）概要版の作成



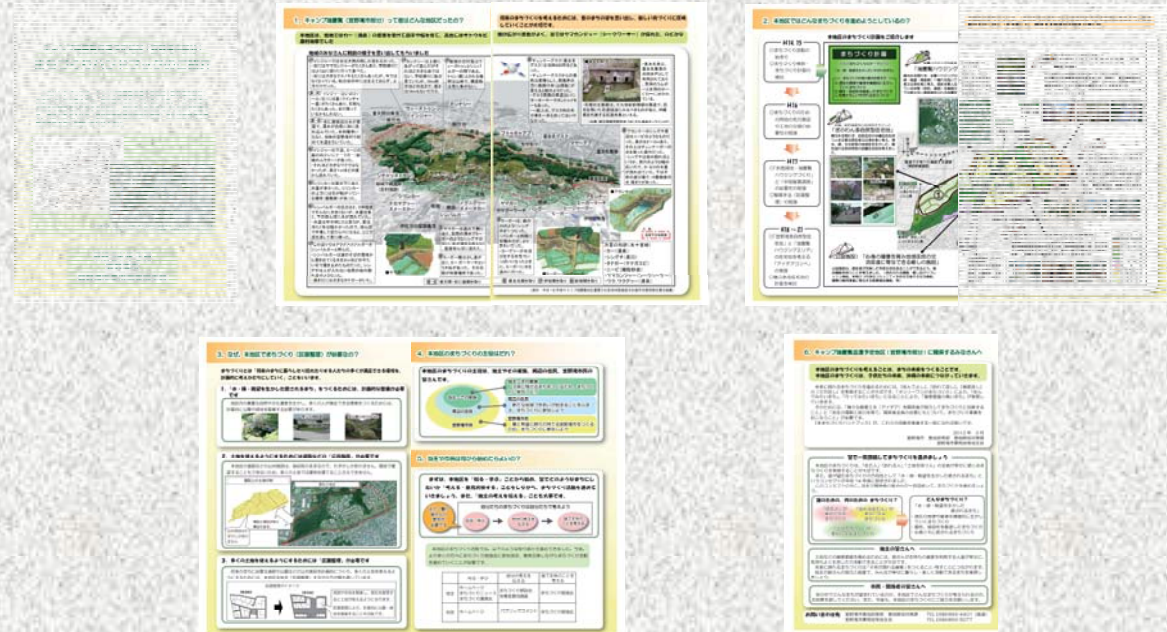
本号では、今年度の勉強会のメインの取組である「瑞慶覧まちづくりハンドブック」（入門編）概要版に記載する内容のとりまとめ及び「地権者意向調査」の結果報告のほか、今年度の主な活動成果を簡単にご報告します。

1. 今年度の勉強会の成果

まちづくり勉強会の開催

- 「瑞慶覧まちづくりハンドブック」は跡地利用の当事者である地権者はもちろんのこと、瑞慶覧のまちづくりに参加する関係者の皆さまへのメッセージと、1人でも多くの方が瑞慶覧のまちづくりの基礎知識を共有することを目的に作成します。
- 当初「瑞慶覧まちづくりハンドブック」は勉強会の中で記載する内容について検討・取りまとめを行い、5月頃に発行する予定でしたが、今年度の勉強会で記載する内容を検討していく中で、もっと内容を充実させ、皆さまに使ってもらえるハンドブックにするべきとの意見があり、それを受けて本年度は皆さまに配布する入門編の概要版に記載する内容について検討してきました。
- 次年度の発行に向けてより良いハンドブックにするために、皆さまからの貴重なご意見等を反映させるために引き続き勉強会を続けて行きます。

◆瑞慶覧まちづくりハンドブック（入門編）概要版のイメージ



今年4月頃に皆さんのお手元にお届けする予定です！

まちづくりは継続的に地権者の皆さんが取り組んでいくことが大事です。

地権者の皆さまだけでなく、ご家族の方にも勉強会にお気軽にご参加いただきたいと考えております。

お忙しいとは存じますが、ご家族の方、お知り合いの地権者の方、皆さまお誘い合わせのうえ、どうぞお気軽にご参加くださいますようお願いいたします。



【第5回勉強会の様子】

多くの皆さまの参加をお待ちしております！

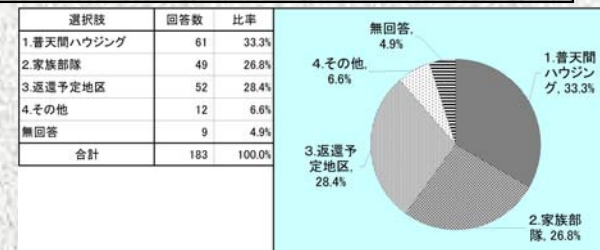
2. 地権者意向調査の結果

- 地権者意向調査は、地権者の皆さまやご家族の意向を「瑞慶覧まちづくりハンドブック」に反映させるために2月10日から2月29日までの期間で実施しました。
- 瑞慶覧地区の地権者 588 名のうち、183 名の方から回答がありました。(回収率：約 31%)

意向調査の結果

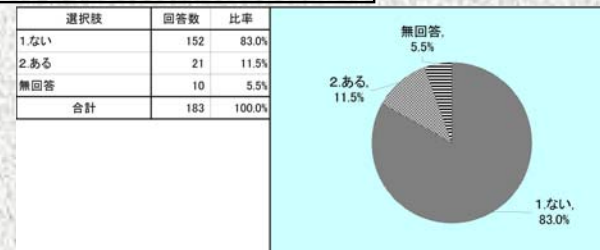
◆土地所有者

問1. もっとも馴染みのある呼び方は？



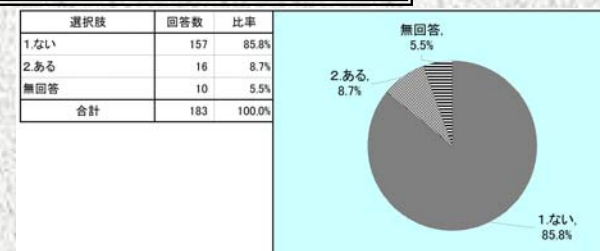
「普天間ハウジング」(約 33%) が最も多く、次いで「3. 返還予定地区」(約 28%)、「2. 家族部隊」(約 27%)、の順となっています。

問2. 戦前の思い出は？



21 人(全体の約 12%) が思い出が「ある」と回答しています。思い出の場所としては「チュンナーガー」や「イシジャー」が多いようです。

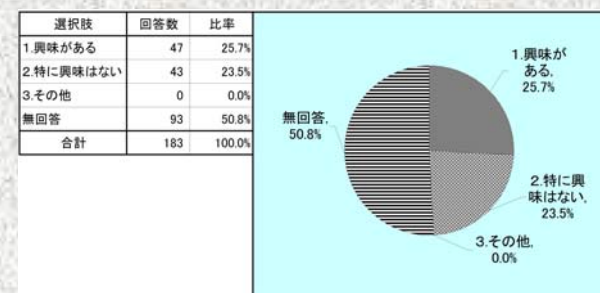
問3. 接收当時の様子は？



16 人(全体の約 9%) が覚えていることが「ある」と回答しています。強制的に接收されたことなどを今でも覚えているようです。

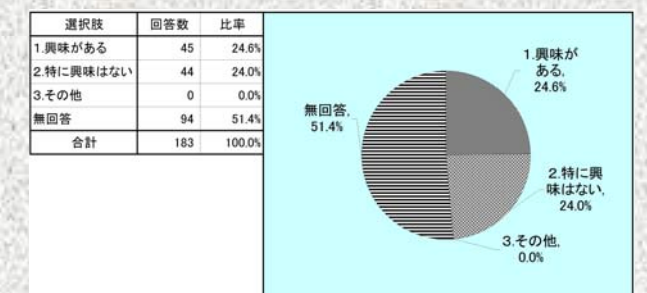
◆ご家族の方

問1. 戦前の様子に興味は？



「1. 興味がある」(約 26%) が「2. 特に興味はない」(約 24%) をわずかに上回っています。

問2. 接收当時の様子に興味は？



「1. 興味がある」(約 25%) が「2. 特に興味はない」(約 24%) をわずかに上回っています。